あんなか T3プロジェクト
スタートアップビジョン

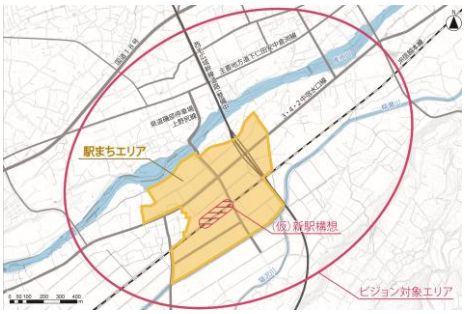
←詳しくはこちら（安中市HP）

令和8年3月

JR信越本線安中・磯部駅間の新駅構想周辺まちづくり基本構想

目的と対象エリア

新駅構想周辺エリアを核とした新たなまちづくりによって地域の魅力と価値を向上させるため、令和７年度にあんなかＴ３プロジェクトスタートアップビジョンを策定しました。



対象エリアは西毛広域幹線道路とＪＲ信越本線が交差する地点であり、交通拠点として高い潜在能力を有しています。
あんなかＴ３プロジェクトスタートアップビジョンでは、駅まちエリアを核とした新たなまちづくりの方向性や将来像を示します。

対象エリアの課題

駅まちエリアでまちづくりを進める上での課題を整理しています。

課題①
既存市街地と役割を分担しながら施設やサービスを集め、計画的に土地を活用すること

課題②
道路と鉄道の交差を生かし、歩きやすく既存市街地とつながる交通を整備すること

課題③
安心安全な環境を整え、安中市の魅力を生かした景観豊かなまちづくりを行うこと

将来像

駅まちエリアと既存市街地が一体となって地域の価値を高めることを目指し、将来像を定めました。



好きが続く、まち。

駅まちエリアの人の動きや活動が既存市街地へ広がり、既存市街地の暮らしの魅力や人のつながりが駅まちエリアにも受け継がれていく。この循環の中で、まちに関わる人の“好き”がいつまでも続いていく、そんなまちを目指していきます。

まちづくりの方針

課題を解決し、将来像を実現するため、3つのテーマでまちづくりを行います。

集う（Tsudou）
多様な人や活動が集う

つながる（Tsunagaru）
暮らしと拠点がつながる

高まる（Takamaru）
生活の質やまちの価値が高まる

3つのT → T3

協働によるまちづくり

新駅周辺のまちづくりでは、地域住民・事業者・行政が協働して進めることが重要です。

地域住民
◇ まちの課題やニーズの発見
◇ まちづくりへの参画・提案

事業者
◇ サービスの提供
◇ 民間資金、ノウハウの活用等

行政
◇ まちづくり活動の支援
◇ まちづくり情報の周知・共有
◇ 参画の機会づくり・相談体制の構築